

高知くらしの護身術

392

スマホ紛失

ロック機能など備えを

(2016年4月19日掲載原稿)

近年、利用者が増加しているスマートフォン（多機能携帯電話）は、各種決済やスケジュール管理、電話帳、カメラなどのさまざまな機能が充実し、クラウド機能（パソコンで保存していたデータを外部で保管し、他の端末でも利用できるサービス）を活用すれば、情報を一元的に管理することも可能です。

単に電話機として使用するだけでなく、大切なデータも保存している場合も多く、紛失や盗難時に消費者が受けるリスクは大きくなっています。

【事例①】中学生の娘が携帯をなくした後、友達の母親から「あなたの娘から変な内容のメールが届いた」と連絡が入った。携帯電話会社と警察に届けたが、保存している画像や情報を悪用されないか心配だ。

【事例②】海外旅行中に携帯を盗まれ、現地の警察に被害届を出したが、携帯電話会社には連絡できなかった。端末の代金は旅行保険で補償されたが、後日利用料として35万円を請求された。

データ流出や不正利用のリスクを最小限に抑えるために、必要な備えと行動を確認しておきましょう。

- ① 自分で設定できる携帯電話のロック機能などを活用する。
- ② 遠隔ロックサービスなど携帯電話の紛失・盗難時に利用できるサービスや機能、端末補償サービスの内容を確認し、必要に応じて加入・登録しておく。
- ③ 携帯電話内に保存しているデータのバックアップを取っておく。
- ④ 警察や紛失した施設へ届け出て、不正利用を防ぐため通信回線の停止手続きをする。
- ⑤ 携帯電話を紛失した後、新しく購入する前に、警察や携帯電話会社に届けられていないか確認する。

日頃から紛失や盗難に備え、利用できるサービスや機能を一度確認してみましょう。